



みのしま

令和5年1月18日
有田市立箕島小学校
第87号

昨日、1月17日は「防災とボランティアの日」でした。1995年のこの日、午前5時46分に淡路島北端を震源とする兵庫県南部地震が発生しました。京阪神を中心に戦後最悪の極めて深刻な被害をもたらし、6434名の尊い命が失われました。和歌山県でも大きな揺れを観測し、物が落下したり、つないでいた船が沈むなどの被害があったことを覚えています。

阪神・淡路大震災をきっかけに学生を中心としたボランティア活動が活発になり、「日本のボランティア元年」と言われました。ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で、この日が制定されました。自然災害は避けることができません。大災害が起こったときに、私たちは助け合いながら生活をしていかなければなりません。今の子どもたちが地域の「防災リーダー」となれるように、豊富な知識と実行力を身につけるように、今後とも取り組んでいきます。ご家庭でも今一度、津波などの災害時の避難経路や、家族の集合場所などの確認をよろしくお願ひします。



残りわずかな時間で大きな実りを 委員会活動



2022年12月の1年生



おみせやさんごっこ

紙ひこうき大会